

自殺予防相談連携事業

(実施期間) 平成 24 年度～	(基金事業メニュー) 強化モデル事業
(実施経費) 700 千円 (700 千円)	(実施主体) 石川県

【事業の背景・必要性・目的】

自殺対策につながる相談活動をしている民間団体が、情報交換会や合同相談会等の開催をとおして、お互いの活動を理解し、連携を強化することにより、相談者の問題に応じて相談機関を紹介できるなど、効果的な相談活動へ発展することを目的とする。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

石川県における自殺者数は、「人口動態統計」によると、平成 9 年までは 200 人以下であったが、平成 10 年に 281 人に急増し、以降、260 人前後で推移していたが、平成 21 年以降は減少傾向にある。

平成 25 年の自殺者数は 225 人（警視庁発表：確定値）と対前年比 40 人減少した。性別では男性が 68%、女性が 32%。年齢別では、60 歳代が最も多く全体の 21.2%、次いで 40 歳代、50 歳代の順である。40～50 歳代は減少傾向にあるものの、20 歳代、60 歳代の自殺者数は増加傾向にある。

総人口	年齢 3 区分別人口（割合）		
	年少	生産	老年
1,159,015 人	153,603 人(13.4%)	696,198 人(60.5%)	299,997 人(26.1%)

【事業目標 事業内容】

地域でのセイフティネット構築のため、各団体・機関の活動が、地域において有効に連携し、支援が繋がるよう情報交換の機会とする。

自殺予防週間、自殺対策強化月間に講演会及び合同相談会の実施をとおして、県内の民間団体が連携し、効果的な相談活動を行えるようにする。

日 時	内 容	参加者
平成 25 年 9 月 16 日 13:00～17:00	I 講演 「若者のかけがえのない命を守るために」 NPO 法人心に響く文集・編集局 代表 茂 幸雄 氏 II 民間団体によるシンポジウム III 合同相談会	講演会・シンポジウム 180 名 相談会 6 件
平成 26 年 3 月 8 日 12:30～17:00	I 講演 「自殺のメディア論」 シノドス編集長 荻上 チキ 氏 II 座談会 若者、家族の体験談 III 合同相談会	講演会・座談会 80 名 相談会 5 件

9 民間団体との連携を強化する①

【事業実施にあたっての運営体制】

多重債務被害者支援、こころの相談、自死遺族の会等の民間 10 団体が情報交換会を県こころの健康センターで年 8 回開催。10 団体及びこころの健康センターの 11 機関で「かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ」を設立し、各活動を報告するとともに講演会、合同相談会の企画等を行っている。

【事業の工夫点】

民間団体が定期的に情報交換会を行い、活動の報告等を行うことにより、他団体の活動を知ることができ、お互いの相談活動に役立てている。また各団体の活動 PR として「かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ」としてパンフレットを作成した。

【事業成果、今後の課題、その他特筆すべき点】

- ① 団体の活動主旨・内容・専門性等各団体の役割が理解できる。
- ② 「かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ」を設立、県民に対し、各機関の活動の周知を図った。
- ③ 相談者に対して、相談内容に応じて、適切に専門窓口につなげられる。
- ④ 合同相談会を開催することにより、ワンストップサービスの提供、地域の相談窓口の紹介につながる。
- ⑤ 関係機関が相互に顔の見える関係になり、連携が強化される。

今後の課題

事業終了後も民間団体が主体的に活動を行っていただける体制を検討している。

<p>(問合せ先) 石川県 障害保健福祉課 TEL: 076-225-1427 E-mail: syohuku2@pref.ishikawa.lg.jp URL: http://www.pref.ishikawa.lg.jp/</p>
